

エコアクション21 環境経営レポート 第15版

令和5年度版：令和5年4月～令和6年3月



始良市から桜島を望む

発行日：令和6年6月28日

始良衛生有限公司

目 次

1. はじめに	2-4
2. 企業理念・環境経営方針	5
3. 会社概要	6
4. 業務概要	7-11
5. 取組体制	12
6. 環境経営目標及び環境負荷の実績	13-14
7. 令和5年度取組結果	15-17
8. 環境活動計画と取組状況	18
9. 環境活動計画の実施状況判定と評価、是正及び 次年度の主な取組（総評）	19
10. 環境関連法規等の遵守状況と苦情・要望等	19
11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	20
12. 中期環境経営目標	21-22
13. 地域貢献活動	22

1. はじめに



代表取締役社長 八丸 智子



令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけされてから、当社も分散出勤を廃止し、従業員が毎日朝礼で顔を合わせて明るい挨拶と笑い声が飛び交う雰囲気に戻りました。

コロナ禍においては分散出勤や車内での昼食など、社員には相当な不便をかけましたが、大変な環境下でも業務が円滑に進んだことは各課長をはじめ、皆の協力のおかげと感謝しております。

業務全般において目立った変更はございませんが、堅実に持続可能な社会発展に寄与するために邁進しております。

汲み取り業務においてはエリア毎の計画収集の実施及び現金支払いのお客様の支払い方法を自動振替へ変更することにより車両走行距離を短縮化しています。浄化槽清掃業務においては作業箇所の集約、携帯型プロアで浄化槽内底部へ空気を送り逆洗し、汚れを落ちやすくするなど清掃工程を工夫することにより業務時間の短縮化に挑戦しています。また濃縮車（バキュームカータンク内で水と汚泥を分離し汚泥のみを収集する特殊車両）を駆使した引き抜き汚泥量の削減は近年、継続的に実施していますが、車両操作者の技術と共に作業品質、スピードも比例して向上しております。残飯のたい肥化においては添加する発酵菌の種類を変更したことにより従来実施していた、たい肥を乾燥させるための火入れ工程を無くし、灯油の使用量をゼロにすることが実現できました。

来年度も継続的に当社経営理念である「安全で明るく思いやりと笑顔溢れる職場」を基盤に業務を通じて質の高いサービスを提供し、市民の皆さまが安心して暮らせる社会づくりを目指します。

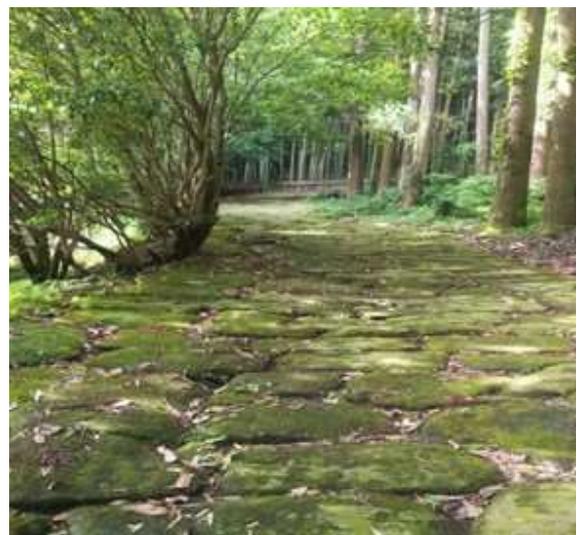
運動公園より始良市を望む



私たちが守っていくもの

薩摩藩の主要街道白銀坂

樹齢 1,500 年 日本一の蒲生の大楠



江戸と薩摩を結ぶ重要な街道龍門司坂

始良衛生 本社駐車場（朝のラジオ体操後）



始良衛生始良リサイクルセンター



ソフトボール部活動



3年ぶりの忘年会



5Rの推進

- Refuse（リフューズ）
- Reduce（リデュース）
- Reuse（リユース）
- Recycle（リサイクル）
- Regeneration（リジェネレーション）

- 断る、辞退する
- 減らす
- 再使用する
- 再資源化する
- 再生、復活

2. 企業理念・環境経営方針

企業理念

1. 社会貢献

業務を通じて質の高いサービスに努め市民が安心して暮らせる社会づくりを目指します。

1. 快適な職場づくり

安全で明るく思いやりと笑顔あふれる職場づくりを目指します。

環境経営方針

企業理念を追求すると共に、事業活動において生じる以下の環境負荷削減を図り、全社員一丸となってエコアクション21に継続的に取り組みます。

〈 行動指針 〉

(1) 環境負荷削減と環境保全活動に積極的に取り組みます

- ① 二酸化炭素（CO₂）排出量を削減します
- ② 廃棄物排出量を削減します
- ③ 水使用量（排水量）を削減します
- ④ 化学物質を適切に管理し、使用します
- ⑤ 地域貢献のため、会社周辺の清掃等を行います

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行います

(2) 業務に関する法律等を遵守します

(3) お客様へのサービスのため社内品質の向上に努めます

(4) 環境保全のための従業員教育を積極的に行い、環境経営方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します

制定日：平成22年 7月1日

改定日：令和 4年11月4日

始良衛生有限会社

代表取締役 **八丸 智子**

3. 会社概要

会社名：始良衛生有限会社

設立：昭和41年4月1日

資本金：300万円

事業所（取組み範囲）：全組織・全事業所

【本社及び車庫】

〒899-5652 鹿児島県始良市平松 7433-5

TEL 0995-65-2383 FAX 0995-65-2976

【始良リサイクルセンター】（略称：ARC）

〒899-5542 鹿児島県始良市上名 2618

TEL 0995-54-4300 FAX 0995-54-4311

【吉田営業所】

〒891-1304 鹿児島県鹿児島市本名町 1912

TEL 099-246-9103 FAX 099-246-9107

【蒲生営業所】

〒899-5302 鹿児島県始良市蒲生町上久徳 426-7

TEL 0995-54-3505 FAX 0995-54-3507

役員：代表取締役社長 八丸 智子
取締役会長 櫛山 一男
取締役専務 八丸 貴宏
取締役 八丸 真人
監査役 櫛山 秀子

EA21 認証・登録範囲

- 一般廃棄物処理業（収集運搬及び中間処理）、浄化槽の保守点検・清掃
- ・し尿収集運搬
 - ・浄化槽保守点検
 - ・浄化槽清掃
 - ・一般廃棄物収集運搬及び中間処理（始良リサイクルセンター）

事業年度：期首4月1日 期末3月31日

社員数：98名

役員	5名（取締役4名，監査役1名）
業務部 部長	1名
次長	1名
業務1課	27名
業務2課	27名
業務3課	38名
総務課	4名

環境管理責任者：榎並 孝二

環境経営レポート担当者：八丸 真人（お問合せ等は本社まで）

4. 業務概要

本社は、業務全般を管理しています。本社 1 階と近くに、浄化槽維持管理車両、し尿収集運搬車両の車庫を有しています。

始良リサイクルセンターは、始良市からの委託業務として、資源ごみの収集運搬及び中間処理（選別とプレス等）を行っています。また、塵芥収集運搬車両（パッカー車）の車庫としても使用しています。

取得している業の許可を下表に示します。

	許可の種類	許可番号	期 間
始良市 始良地区 蒲生地区	一般廃棄物処理業許可証	始良市一般廃棄物処理業許可第 1 号	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
	浄化槽清掃業許可証	始良市浄化槽清掃業許可第 1 号	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
	浄化槽汚泥収集運搬業許可証	始良市一般廃棄物処理業許可第 24 号	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
	し尿収集運搬許可証	始良市一般廃棄物処理業許可第 22 号	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
	脱水汚泥収集運搬許可証	始良市一般廃棄物処理業許可第 26 号	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
鹿児島市 吉田地区	浄化槽保守点検業者登録	指令第 5-15 号	令和 5 年 6 月 1 日～ 令和 10 年 5 月 31 日
	一般廃棄物処理業許可証	第 418 号	令和 5 年 4 月 2 日～ 令和 7 年 4 月 1 日
	浄化槽清掃業許可証	指令第 5-13 号	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
県	浄化槽保守点検業者登録	鹿児島県知事 第 04-09 号	令和 5 年 6 月 1 日～ 令和 10 年 5 月 31 日

始良衛生有限公司 車両一覧

区分	種類	業務1課	業務2課	業務3課	合計
バキューム車	3.0 t	11			27
	3.5 t	7			
	7.0 t	2			
	10.0 t	2			
	7t2槽式	2			
	濃縮車	2			
	軽	1			
塵芥車	3.5 t		6		9
	4.0 t				
	5.5 t		3		
平ボディ	2.0 t		2		5
	3.0 t		2		
	3.5 t		1		
ダンプ	4.0 t	2			2
高压洗浄車				1	1
保守点検車	軽			40	40
普通乗用車				1	1
トラック	1.0 t	1			1
	軽	1	2		3
軽自動車					
軽貨物			1		1
合計		31	17	42	90

始良リサイクルセンター



本社 車両駐車場

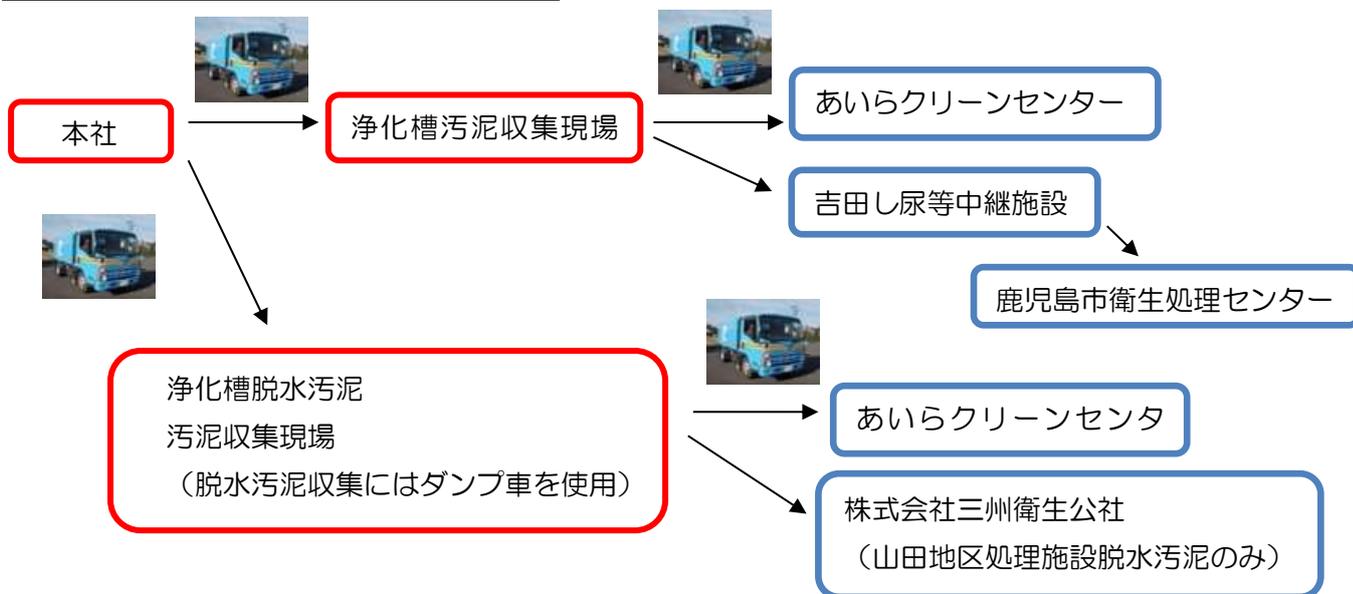


【業務フロー】 赤枠：自社の業務範囲 青枠：自社外の業務範囲（処理場、処理施設など）

業務 1 課（し尿収集運搬業務）



業務 1 課（浄化槽汚泥収集運搬業務）

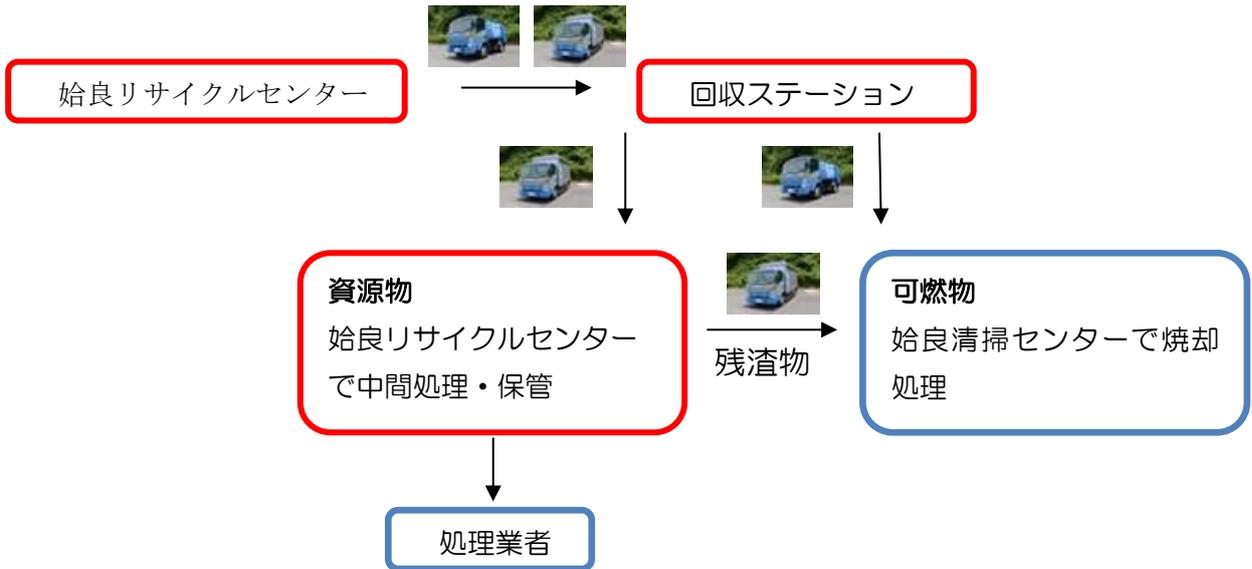


浄化槽汚泥濃縮車（SN 車）



業務 2 課（一般廃棄物収集運搬・リサイクルセンターの運営管理業務）

可燃物、資源物の収集・運搬



※ 始良リサイクルセンターは、弊社の施設です。始良市の委託業務を行っています。整備している施設は以下の通りですが、一般廃棄物の収集・分別業務などは市の事業なので、取扱量の記載を控えます。お手数ですが、始良市のホームページなどから情報をご確認くださいませようお願いいたします。

中間処理機器

あき缶選別プレス装置：日本マグネティックス缶プレス機 ACP072-7



最高処理能力
 スチール }
 アルミ } 5 t 未満 / 日

ペットボトル減容装置：PB-300



最高処理能力
 1.6 t / 日



最高処理能力
4.8 t/日

発泡スチロール減容機：RE-E502



最高処理能力
400 kg/日

業務 3 課（浄化槽保守点検業務）



保守点検車

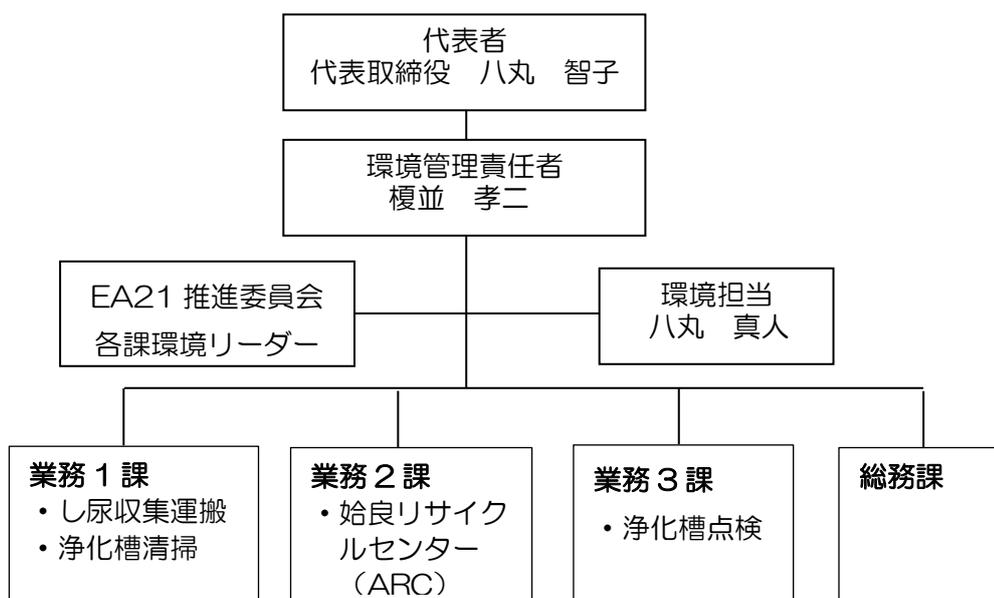
【令和 5 年度一般廃棄物処理量】

収集運搬量（総量として）：54,837 t

中間処理量（資源化量）： 949 t

5. 取組体制

始良衛生有限会社 環境経営システム体制



役 職	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション 21 に関する事項の審議・検討 関連する環境経営計画の実施及び達成状況の環境担当への報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理
環境担当	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、エコアクション 21 (EA21) 推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する環境育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション 21 を理解し、環境への取組の重要性を自覚する 環境経営方針の理解と決定された環境活動に自主的・積極的に参加する 環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告

6. 環境経営目標

環境経営目標及び環境保全活動として以下の①～⑤の項目について活動を行います。

- ① 二酸化炭素（温室効果ガス） ⇒ 燃料と電気の使用から発生
- ② 廃棄物 ⇒ 使用する資機材・事務用品等から発生
- ③ 排水（上水） ⇒ 排水量 通常の水使用量
取水量（地下水） ⇒ 浄化槽清掃後の水張りで使用
- ④ 化学物質 ⇒ 浄化槽維持管理業務で使用
- ⑤ 地域貢献 ⇒ 会社周辺の清掃活動等を行う

環境経営目標（3ヵ年）

<全社>

目標項目	内容	基準値 令和3年度	目標値 令和4～6年度
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料 (kg-CO ₂)	431,508	431,508
	電気使用量 (kwh) (kg-CO ₂)	79,413	79,413
		38,118	38,118
	二酸化炭素排出総量	469,626	469,626
②廃棄物 (kg)	産業廃棄物	6,740	6,740
	一般廃棄物	4,723	4,723
③排水量 (m ³)	上水使用量	853	853
③取水量 (m ³)	地下水使用量	30,614	30,614
④化学物質確認 (回)	殺虫剤及び消毒剤	1回/月 12回/年間	1回/月 12回/年間
⑤地域貢献 (回)	周辺清掃	本社 8回/年間 ARC 1回/年間	本社 8回/年間 ARC 1回/年間

- ※ 廃棄物は弊社内や業務上生じた廃棄物量の記載です。受託した産廃はありません。
- ※ 基準値は令和3年度の値とし、増加しないよう維持することに努めます。但し、産業廃棄物については、令和3年度産廃の汚泥が自社始良リサイクルセンターの汚泥槽のみに蓄積し、社外への排出量が無かったため、始良リサイクルセンターの値がある令和1年度の値とします。
- ※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、調整後の令和2年度の九州電力の値、0.480 (kg-CO₂/kWh) を用いています。

< 本社 >

目標項目	内容	基準値 令和 3 年度	目標値 令和 4~6 年度
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料 (kg-CO ₂)	318,555	318,555
	電気使用量 (kwh) (kg-CO ₂)	28,706 13,779	28,706 13,779
	二酸化炭素 排出総量	332,334	332,334
②廃棄物 (kg)	産業廃棄物	2,160	2,160
	一般廃棄物	3,841	3,841
③排水 (m ³)	上水使用量	573	573
③取水 (m ³)	地下水使用量	30,614	30,614
④化学物質確認 (回)	殺虫剤及び消毒剤	1 回/月 12 回/年間	1 回/月 12 回/年間
⑤地域貢献 (回)	周辺清掃	8 回/年間	8 回/年間

< 始良リサイクルセンター (ARC) >

目標項目	内容	基準値 令和 3 年度	目標値 令和 4~6 年度
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料 (kg-CO ₂)	112,953	112,953
	電気使用量 (kwh) (kg-CO ₂)	50,707 24,339	50,707 24,339
	二酸化炭素 排出総量	137,292	137,292
②廃棄物 (kg)	産業廃棄物	4,580	4,580
	一般廃棄物	881	881
③排水 (m ³)	上水使用量	280	280
④地域貢献 (回)	周辺清掃	1 回/年間	1 回/年間

7. 令和5年度取組結果

判定（増減率）による ※ 達成率＝目標値÷実績値×100

◎：-2%以上 ○：0～-2%未満 △：1%未満 ×：1%以上

< 全社 >

目標項目	内容	目標値 R5/4/1～ R6/3/31	実績値 R5/4/1～ R6/3/31	差異	増減率 (%)	判定
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料使用量	431,508	414,099	-17,409	-4.0%	◎
	電気使用量 kWh	79,413	85,230	5,817	7.3%	×
	kg-CO ₂	38,118	40,910	2,792		
	二酸化炭素 排出総量	469,626	455,010	-14,616	-3.1%	◎
②廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物	6,740	8,290	1,550	23.0%	×
	一般廃棄物	4,723	5,187	464	9.8%	×
③排水量 (m ³)	上水使用量	853	751	-102	-12.0%	◎
③取水量 (m ³)	地下水使用量	30,614	28,629	-1,985	-6.5%	◎
④化学物質 (回)	殺虫剤、 消毒剤	1回/月 12回	1回/月 12回		達成率 100%	○
⑤地域貢献 (回)	周辺清掃	本社8回 ARC1回	本社8回 ARC1回		達成率 100%	○

※電力二酸化炭素排出係数：九州電力令和2年度調整後排出係数 0.480 (kg-CO₂/kWh)

たい肥化処理施設



肥料製造機
M-20型
／500 kg

たい肥 葉肥 はっぴい



<本社>

目標項目	内容	目標値 R5/4/1~ R 6/3/31	実績値 R5/4/1~ R 6/3/31	差異	増減率 (%)	判定
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料使用量	318,555	298,452	-20,103	-6.3%	◎
	電気使用量 kWh	28,706	29,401	695	2.4%	×
	kg-CO ₂	13,779	14,112	333		
	二酸化炭素 排出総量	332,334	312,564	-19,770	-6.0%	◎
②廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物	2,160	2,030	-130	-6.0%	◎
	一般廃棄物	3,841	4,443	602	15.7%	×
③排水量 (m ³)	上水使用量	573	504	-69	-12.0%	◎
③取水量 (m ³)	地下水使用量	30,614	28,629	-1,985	-6.5%	◎
④化学物質確認 (回)	殺虫剤	1回/月	1回/月		達成率 100%	○
	消毒剤	12回	12回			
⑤地域貢献 (回)	周辺清掃	8回	8回		達成率 100%	○

※電力二酸化炭素排出係数：九州電力令和2年度調整後排出係数 0.480 (kg-CO₂/kWh)

鹿児島県環境保全協会との合同浄化槽勉強会（本社駐車場にて）



<始良リサイクルセンター（ARC）>

目標項目	内容	目標値 R5/4/1～ R6/3/31	実績値 R5/4/1～ R6/3/31	差異	増減率 (%)	判定
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料使用量	112,953	116,021	3,068	2.7%	×
	電気使用量 kWh	50,707	55,829	5,122	10.1%	×
	kg-CO ₂	24,339	26,798	2,459		
	二酸化炭素 排出総量	137,292	142,819	5,527	4.0%	×
②廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物	4,580	6,280	1,700	37.1%	×
	一般廃棄物	881	744	-137	-15.5%	◎
③排水量 (m ³)	上水使用量	280	247	-33	-11.8%	◎
④地域貢献 (回)	周辺清掃	1回	1回		達成率 100%	○

※電力二酸化炭素排出係数：九州電力令和2年度調整後排出係数 0.480 (kg-CO₂/kWh)

ごみゼロ 運動



交通安全立哨活動



8. 環境活動計画と取組状況

項目	活動計画	業務1課	業務2課	業務3課	総務課
燃料	① 自動車燃料削減目標の説明、呼びかけ	○	○	○	—
	② アイドリングストップ推進	○	○	○	—
	③ 制限速度・積載量の遵守	○	○	○	—
	④ 車両の乗合せ推進	○	○	○	—
	⑤ 冷暖房控え目運転	○	○	○	—
電力	① 省エネ目標の説明、協力呼びかけ	○	○	○	○
	② 節電運動展開	○	○	○	○
	③ 不要照明の消灯	○	○	○	○
	④ OA 機器不使用時の電源 OFF	○	○	○	○
	⑤ 終業時の電源チェック	○	○	○	○
	⑥ 冷房 27℃設定（夏場）	○	○	○	○
	⑦ 暖房 22℃設定（冬場）	○	○	○	○
廃棄物 （産廃）	① 分別コンテナ（ボックス）による分別収集	—	—	○	—
	② 再使用（修理等）	—	—	○	—
	③ リサイクル可能な業者への処理委託	—	—	○	—
廃棄物 （一般）	① 一般廃棄物削減目標説明、協力呼びかけ	○	○	○	○
	② 裏紙使用の推進	○	○	○	○
	③ 印刷物、コピーの削減、両面コピー使用	○	○	○	○
	④ ゴミ分別の徹底	○	○	○	○
排水 （上水）	① 水道水削減目標の説明及び協力呼びかけ	○	○	○	○
	② 節水シール貼付け	○	○	○	○
	③ 手洗い時の流し放し禁止	○	○	○	○
取水 （地下水）	① 表示板掲示	○	○	○	○
	② 管理チェック	○	○	○	○
化学物質	① 施錠確認	—	—	○	—
	② 在庫管理	—	—	○	—
地域貢献	① 会社周辺の清掃活動	○	○	○	—

本社下駐車場（保守点検車の駐車に使用）



9.実施状況判定と評価、是正処置及び次年度の主な取組（総評）

前年と同様、各営業所単位での環境活動計画は例年の取り組みを踏襲して実施しました。環境目標については、電気使用量、産業廃棄物、一般廃棄物を除いて達成できました。

10. 環境関連法規等の遵守状況と苦情・要望等

環境関連法規の遵守状況を「環境関連法規等取りまとめ表」を用いて環境管理委員会でチェックした結果、順守されており問題ないことを確認しました。また、市民から寄せられる要望・苦情は、日々の業務において適切に対処しており、その記録も保管しています。環境関連法規および条例への違反・訴訟などはなく、環境当局からの違反等の指摘も、過去3年間含めてありません。

法規制等名称	該当する要求事項	該当する設備・項目	点検・測定頻度、実施時期
浄化槽法	① 浄化槽清掃業者-市町村長の許可 ② 浄化槽保守点検業者-県知事登録	①浄化槽汚泥 ②顧客先浄化槽	①許可更新 1 回/2 年 ①許可更新 1 回/3 年 ③ 登録更新 1 回/5 年
水質汚濁防止法	浄化槽管理	浄化槽処理水	排出基準測定を実施 鹿児島県浄化槽事務取扱要綱による鹿児島市浄化槽事務取扱要綱
廃棄物処理法	一般廃棄物処理業更新許可	浄化槽汚泥	①許可更新 1 回/2 年 許可更新 1 回/3 年
	一般廃棄物の収集運搬業者委託 →（自社リサイクルセンター持込）	一般廃棄物（紙屑、空缶等）	自社→処理場持込
	①産業廃棄物収集・運搬業更新許可 ②特別管理産業廃棄物収集・運搬業更新許可 ③顧客との委託契約、マニフェスト交付・管理、収集・運搬、処分実績報告書	①廃プラ等 12 種類 ②廃油・廃酸・廃アルカリ・汚泥・感染性産廃	①②許可更新 1 回/5 年 ③実績毎年 6 月 30 日迄報告
	産業廃棄物排出事業者 ・委託収集運搬・処分業者契約及び許可証写し保管（許可期限切更新） ・保管基準 60cm×60cm 以上表示 飛散・浸透防止、衛生管理 ・自社による運搬時の表示、書類携行 ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付	産業廃棄物（廃プラ、金属屑、廃油等）	・業者契約書・許可証 1 回/年確認 ・保管表示版 1 回/年チェック ・運搬車への表示・伝票携帯
	B2、D、E 票の保管（5 年間） D 票 90 日、E 票 180 日以内に送付 ない場合 30 日以内に知事報告 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書		B2,D E 票が期日を過ぎた時点 前年度分を毎年 6 月 30 日迄
フロン排出抑制法	・業務用エアコンの簡易点検 ・エアコン廃棄時の適切な処理 専門業者委託	始良リサイクルセンター 3 基 本社はなし	3 カ月毎点検し、記録を保管
家電リサイクル法	・家庭電化製品の資源の有効利用促進 なるべく長期使用 ・廃棄時にリサイクル料金負担	冷凍冷蔵庫、家庭用エアコン、洗濯機	廃棄時リサイクル券購入 リサイクル専門業者へ委託又は買い替え先へリサイクル料金支払い

1 1. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

1. 目標の達成状況

燃料

冒頭に記載しました通り、業務改善により車両走行距離や業務時間の短縮により、△17,409kg (4.0% 減) と削減を実現できました。今後もエコドライブ含め基本的なことを徹底していきます。

電気

分散出勤の廃止で事務所の電気、空調稼働時間が増加したこと及び始良リサイクルセンターの中間処理施設の稼働が増え、+5,817kWh (7.3% 増) と目標が未達でした。引き続き空調の適切な温度設定の徹底。また昼休み時消灯など小まめな節電を心掛け電気使用量を抑えます。

廃棄物

本社では分散出勤の廃止により各課の分散場所の撤去及び事務所整理による備品廃棄を実施したため一般廃棄物が増加+602kg (15.7% 増)、始良リサイクルセンターでは、産廃浄化槽の清掃が入ったため汚泥量分増加+1,700kg (37.0% 増) しました。

排水

水道水の無駄な使用はしないよう徹底しており、目標を達成することができました。

化学物質

化学物質の在庫管理や整理整頓、施設などの徹底の点検活動を行いました。浄化槽の安定剤としての乳酸菌の培養についても今後もさらに研究を重ね、環境に優しい自然由来の原料での開発に努めます。

地域清掃活動

本社では本社周辺の道路を約 2km にわたって空缶やゴミ拾いを課別に担当し、行っています。始良リサイクルセンターでは周辺の道路や川の土手等の草払いを行っています。

2. 法律の順守について

各課で自主的な勉強会の開催が再開できました。また講師を招いての安全講習会や社員が県内外へ出張して勉強会やセミナー、資格試験へ参加しています。

3. 環境経営方針の見直しについて

令和 4 年度 11 月に改定しましたので、令和 6 年度の改訂は予定していません。

4. 目標の見直しについて

浄化槽基数及び始良市人口の増加に比例し当社稼働率も上昇していることから、目標値の見直しを行いました。次ページ「中期環境経営目標（令和 6～8 年度）」表に記載します。

12. 中期環境経営目標（令和6～8年度）

< 全社 >

目標項目	内容	令和5年度実績値	目標値 令和6～8年度
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料使用量	414,099	414,099
	電気使用量 kWh	85,230	85,230
	kg-CO ₂	40,910	40,910
	二酸化炭素排出総量	455,010	455,010
②廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物	8,310	8,310
	一般廃棄物	5,187	5,187
④排水量 (m ³)	上水使用量	751	751
③取水量 (m ³)	地下水使用量	28,629	28,629
⑤化学物質確認 (回)	殺虫剤、消毒剤	1回/月 12回	1回/月 12回
⑥地域貢献 (回)	周辺清掃	本社8回 ARC1回	本社8回 ARC1回

※ 目標値は令和5年度の実績値とし、増加しないよう維持することに努めます。

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、調整後の令和2年度の九州電力の値、0.480 (kg-CO₂/kWh) を用いています。

< 本社 >

目標項目	内容	令和5年度実績値	目標値 令和6～8年度
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料使用量	298,452	298,452
	電気使用量 kWh	29,401	29,401
	kg-CO ₂	14,112	14,112
	二酸化炭素排出総量	312,564	312,564
②廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物	2,030	2,030
	一般廃棄物	4,443	4,443
③排水量 (m ³)	上水使用量	504	504
③取水量 (m ³)	地下水使用量	28,629	28,629
④化学物質確認 (回)	殺虫剤、消毒剤	1回/月 12回	1回/月 12回
⑤地域貢献 (回)	周辺清掃	8回	8回

<始良リサイクルセンター（ARC）>

目標項目	内容	令和5年度実績値	目標値 令和6~8年度
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	燃料使用量	116,021	116,021
	電気使用量 kWh	55,829	55,829
	kg-CO ₂	26,798	26,798
	二酸化炭素排出総量	142,819	142,819
②廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物	6,280	6,280
	一般廃棄物	744	744
③排水量 (m ³)	上水使用量	247	247
⑤地域貢献 (回)	周辺清掃	1回	1回

1.3. 地域貢献活動

献血協力（社員の半分以上が協力）



錦江湾クリーンアップ作戦



浜辺のゴミ、漂着物を回収



社員一同、引き続き積極的にエコアクションを展開します！